

令和3年度第1回鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会会議概要

- 1 日 時 令和3年8月12日（木） 14時00分～15時05分
- 2 場 所 市役所西別館401会議室
- 3 出席者 鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会委員19名

4 会次第

- (1) 開会
- (2) 新任委員紹介
- (3) 議事
 - ①第8期計画の実施予定について
 - ②介護保険の実施状況等について
- (4) 閉会

5 審議の概要

(1) 議事について

○令和3年度の各種施策はコロナ禍の状況で計画通り実施できるのか。すこやか長寿まつり開催事業や認知症オレンジサポーター養成講座事業について。

⇒現時点では開催する方向で考えている。ギリギリまで状況を見て、規模の縮小もしくは延期や中止を判断する。

認知症サポーター養成講座は、今年度はすでに3回ほど開催している。募集定員を制限するなど、十分な感染症対策を行ったうえで開催しており、今後も感染症に十分留意し、可能な範囲で進める。

○8期計画のコンセプトについて。

⇒高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことができるということを一番の目標に掲げて8期計画を策定している。

○建物に対して補助金がでても、働く人がいないという問題が起こっている。市として、介護スタッフをどのようにしていくのか。また、事業所が介護報酬を受けるにあたって要件が難しくなっているが、そのような状況をどう考えているのか。

⇒介護報酬については、基準が国の方で定められており、市としてはその基準に従っている。処遇については、処遇改善特別加算を積極的に取り入れるよう事業所にも案内をしており、多くの事業所で取り入れていると聞いている。介護人材の確保は大事な問題なので、介護労働安定センターと連携を取りながら努めている。

○鹿児島県内の介護職員の現状。また、地域支えあい事業のボランティア団体の活動や制度の趣旨について、ケアマネジャー協会への周知について。

⇒鹿児島県内の介護職員割合は、全国抽出調査で正規職員 60.5%非正規職員 39.5%となっている。ケアマネジャー協会への周知については、検討する。

○チームオレンジの設置と認知症あんしんサポート事業について。

⇒チームオレンジは、まだ検討段階であり、具体的なものはまだ説明できる段階にはない。認知症あんしんサポート事業は、当初はLINEで登録し、行方不明者等の情報を配信する予定だったが、国からのガイドラインにより、この方法では出来ないことになった。現在、鹿児島県警とどのような形で実施するか調整している。

○今後の事業者指導について、集団指導の実施についての考え方。

⇒コロナ禍の状況で集まっての開催は難しいため、どのような形であるかは協議中だが、HPや動画配信など何らかの方法でお示しする。

○介護人材不足が顕著に出ている。魅力的な職場環境づくりを民間だけでなく行政側も支えているという何らかの施策や、厚生労働省が介護福祉士の資格を取る人に40万円の補助金を出すという施策、潜在有資格者の掘り起こしを介護福祉士団体などの関係機関に委託するなど、メッセージ性のあるなにか施策を予算化して行ってほしい。

⇒介護人材の確保については、国や県において介護職員の処遇改善や身体的負担の軽減を図る介護ロボットの導入費用の助成など総合的な介護人材確保対策に取り組んでいる。処遇改善加算の周知を図るよう努めているが、ご要望のあった市独自の施策については財政的に厳しいと考えている。何かできることがないか引き続き検討する。